

第4回 三宅町国民健康保険運営協議会 議事録要旨

1. 日時	令和6年3月1日(金)午後2時～午後3時20分
2. 場所	三宅町保健福祉施設あざさ苑 2階研修室
3. 出席者	委員:辰巳光則会長、渡辺哲久委員、藤本洋和委員 島山桂委員、坂田裕計委員、西岡維佐子委員 事務局:三宅町住民福祉部長、保険医療課長他2名
4. 議題	(1)令和6年度三宅町国民健康保険特別会計予算(案)について (2)奈良県国民健康保険保険料(税)水準の統一化について (3)三宅町第3期国民健康保険データヘルス計画 及び第4期特定健康診査等実施計画策定について (2)その他
5. 議事内容	<p>(1)令和6年度三宅町国民健康保険特別会計予算(案)について</p> <p>歳入 前年度比7,400万円の減額 主な増減要因:県内保険料水準の統一化による 国民健康保険税:町保険税が増額となり税収増加の見込み 県支出金:県繰入金交付金が廃止となるため減少 繰入金:基金繰入措置がなくなるため減少</p> <p>歳出 前年度比7,400万円の減額 主な増減要因:データヘルス計画策定の終了、70歳以上高齢者の減少、県内保険料水準統一化による 総務費:データヘルス計画策定経費の減額 保険給付費:70歳以上高齢者の減少による保険者負担額、高額医療費の減少 国民健康保険事業費給付金:県の繰入金に係る市町村への交付金廃止により減額</p> <p>基金残高 基金の取り崩しにより減少 今後は保健事業をはじめとする国・県の財政支援がない町独自の国保事業や取組に対して基金繰入を行い、被保険者に還元していく</p>

【質問】

保険料が統一化されても、人間ドックの助成は内容や費用が同じではないのか

【回答】

人間ドック・脳ドックのような保健事業については、自治体ごとに方法や費用が異なる。

これら地域性がある、独自事業でありその運営は基金で還元していく。

これまでは基金を入れて保険料を削減してきたが令和6年度からはできない。

【質問】

新規保健事業として40歳未満の健康診査を追加しているのに、全体として保健事業の経費が削減されているのはなぜか

【回答】

令和5年度の当初予算積算根拠を精査し、細かいところを見直したことにより全体の額が少し下がった。

(2)奈良県国民健康保険保険料(税)水準の統一化について

経緯・概要

平成29年度に策定した「第1期奈良県国民健康保険運営方針」において、被保険者の負担の公平化を実現するため、「同じ所得・世帯構成であれば、県内どこに住んでいても保険料水準が同じ」となる県内保険料水準の統一化を進めてきた。

令和6年度から「第2期奈良県国民健康保険運営方針」が適用開始となり、県内保険料水準の統一化を施行する。

三宅町においても、三宅町国民健康保険税条例の一部改正を行い、令和6年4月1日から施行する。

【質問】

加入者1,400~1,500人くらいと聞いている。保険税の上がり方はこれくらいなのか

【回答】

町単独でなく、県全体の被保険者で計算して、税率など試算した結果である。

(3)三宅町第3期国民健康保険データヘルス計画
及び第4期特定健康診査等実施計画策定について

概要

2/5~19まで、パブリックコメントを実施した
提出された意見はなし

全回の会議後、データホライズン担当者と打ち合わせを重ね、主に現行計画の評価、次期計画の個別保健事業の評価指標について修正を行ってきた。

現行評価や、次期計画の個別保健事業についてアウトプット・アウトカム指標に分けて設定している。

また、会議でいただいたご意見やご質問をもとに、内容の見直しも行った。

本日お渡ししている冊子が、ほぼ完成版となるが、最終的に内容のチェックや最新データ、特に令和4年度のものが入るかどうかを直前までみながら最終版としたい。

また、P87-90を「参考資料」として掲載している「計画策定までの検討経過、委員名簿、そして全回の会議でご意見いただいた、「用語集」を掲載している。

計画についてお話しする最後の機会となるので、委員の皆様からご意見があれば、お伺いしたい。

【質問】

適正受診に関して「お薬手帳の利用促進」とはどのようなことか

【回答】

医療機関に持参する人は毎回持参してくれる。

健康保険証と一緒に持つものとして8割くらいの方が持参する。

アプリを利用する方もいる。

マイナ保険証普及がすすめば便利な面もある。

お薬手帳もマイナンバーカードもない場合、飲み合わせのチェックはできない。

【質問】

元々の疾患で服用している内服薬に、急性の疾患による内服薬の追加があると副用量が増える場合がある。その場合、別の医療機関、別の薬局での処方となる。

【回答】

パソコン上で、チェックする機能もある。

アラートをかけてくれる自動判定機能である。

【その他】

マイナンバーカードと現行の保険証について

三宅町では、例年どおり令和6年7月に新しい健康保険証を発行する予定。

12月からはマイナンバーカードが基本となる。

パブリックコメントの実施について、事前告知するなどして、関心を高める工夫が必要ではないか。

(4)その他

特に議題なし

会議議事録に関する署名

三宅町国民健康保険運営協議会規則第4条に基づき署名する。

藤本洋和